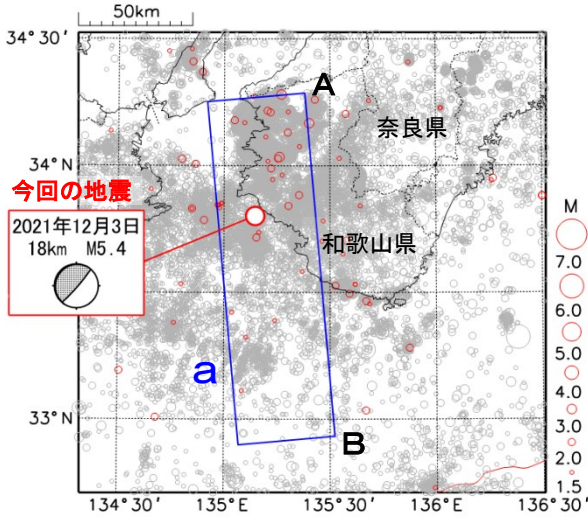


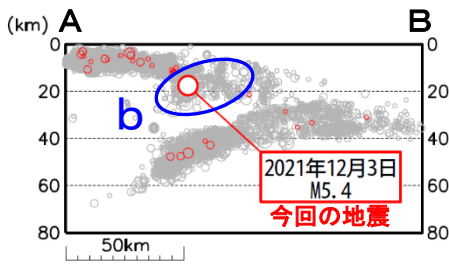
12月3日 紀伊水道の地震

震央分布図

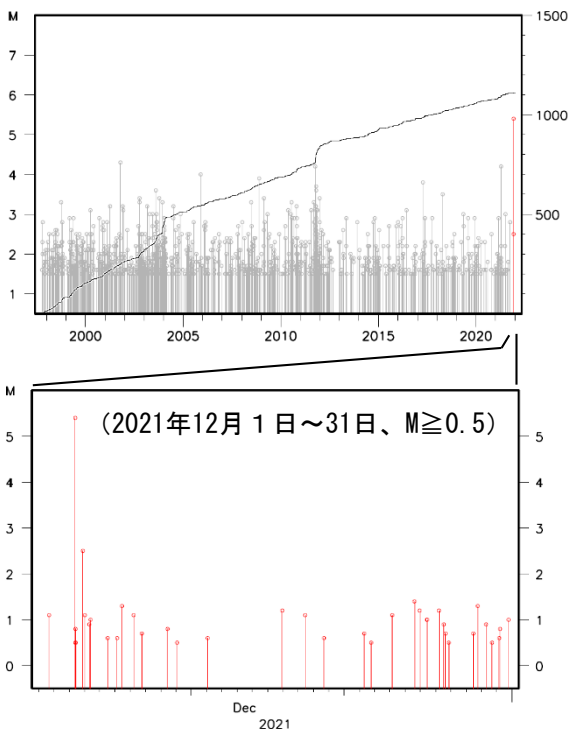
(1997年10月1日～2021年12月31日、
深さ0～80km、 $M \geq 1.5$)
2021年12月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



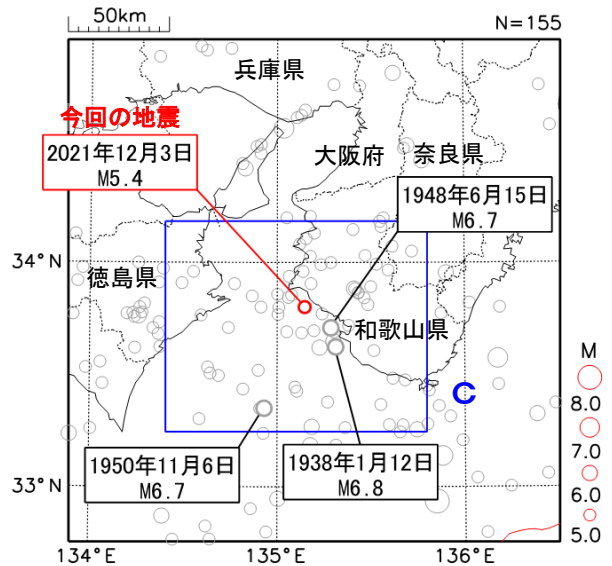
2021年12月3日09時28分に紀伊水道の深さ18kmでM5.4の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により軽傷5人、住家一部破損2棟などの被害が生じた(12月13日09時30分現在、総務省消防庁による)。今回の地震後、震度1以上を観測する地震は発生していない。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0程度の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1960年代にかけてM6.0以上の地震が時々発生していた。このうち1948年6月15日に発生したM6.7の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

(1919年1月1日～2021年12月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2021年12月の地震を赤色で表示



領域 c 内の M-T 図

